

令和２年度 第１０回白石町協働による地域づくり検討委員会 議事録

- 開催日時：令和２年７月２０日（月）１９：００～２０：１０
- 開催場所：白石町役場３階 大会議室
- 出席委員：五十嵐委員長、森副委員長、松永委員、中橋委員、上野委員、石橋委員、定松委員、木原委員、石隈委員、島ノ江委員、福地委員、片渕委員、江口委員、前田委員、井崎委員、内野委員、草野委員、山下委員
- 事務局：百武副町長、千布総務課長、木須総合戦略課長、中村生涯学習課長、森白石公民館係長、伊東福富公民館係長、木須有明公民館係長、武富長寿社会課長、山下課長補佐、溝口高齢者係長、筒井総合戦略課長補佐、香月重点プロジェクト係長、山口重点プロジェクト係主任、諸石重点プロジェクト係主事、辻白石創生推進係長、柴田白石創生推進係主任、陣内白石創生推進係主事

《 議 事 録 》

１９時 開会

１．開会

２ 委嘱状交付

３ 町長あいさつ

○町長

本日はお忙しいところを、「白石町協働による地域づくり検討委員会」にご出席いただきましてありがとうございます。また、この検討委員会の委員をお引き受けいただいたことにつきましても、重ねてお礼を申し上げます。

さて、本町におきましては、人口減少や少子高齢化が今後さらに進んでいくことが予想され、それに伴いまして、求められる公共サービスの需要は拡大し、複雑、多様化すると想定しています。

このような状況を踏まえて、この検討委員会からは、「概ね現在の小学校区単位の地域で、「地域づくり協議会」という新しいネットワークで各団体が連携し、地域課題の解決や、地域活性化などに取り組む」という町民協働のまちづくりの方向性を示していただいたところです。

現在、須古地区において、このモデル事業に取り組まれており、災害時の初期対応や、

伝統文化をどうやって継承していくのかなど、具体的な話し合いをされているところでもあります。町といたしましても、全面的にこの活動をお手伝いさせていただきまして、来年5月の「須古地区地域づくり協議会」設立を地域と一緒に目指しています。

また、今年度におきましては、ご存知のとおり新型コロナウイルス感染症のため、町内の様々な所に影響が出ております。現在、感染状況は県内落ち着いているところですが、まだまだ予断を許さない状況であり、今後とも感染予防の徹底を続けていくことが必要です。

さらに、先日は九州地方に大雨特別警報が出されました。本町においても避難指示を発令し、避難所には100名以上の方が避難をされました。数十年に一回と言われる大雨が各地で毎年のように発生しており、土砂崩れや河川の氾濫などへの対策が強く求められています。

このような状況に対応していくためにも、町民の皆様と情報を共有しながら連携し、協働することは非常に重要なことと考えているところです。

最後になりましたが、委員の皆様には協働という観点から、「地域づくり協議会」のあり方などについて、いろいろな立場から忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。

4 委員の紹介

5 町担当職員の紹介

6 白石町協働による地域づくり検討委員会設置要綱及びその役割について

○事務局

白石町協働による地域づくり検討委員会設置要綱です。この検討委員会は第1条にありますとおり地域を基盤とするまちづくりやコミュニティ活動の方向性及びそれに基づく町の政策のあり方などについて検討するため設置をしております。第2条はこの検討委員会において検討・協議する事項を定めております。第1号の地域におけるまちづくりの現状及び課題に関する事、これにつきましては平成30年に町民アンケート等を実施したところです。第2号の地域コミュニティ組織の位置付け役割及び体制に関する事、第3号の地域と行政との適切な役割分担の在り方に関する事、これにつきましては、現在この検討委員会から町民協働によるまちづくりの方向性として小学校区等の地域内にある各団体が連携する地域づくり協議会、この設立を推進することで、参加と協働で築く町民主体のまちを目指すということをお示して頂いております。これを受けてそのモデル事業を昨年度から須古地区ということで指定して実施しておりますが、その取り組まれ方などを参考に、さらに検討・協議をしていただいて、最終的には町への提言という形で取りまとめることを想定しております。第3条につきましては、委員

会は委員22名以内をもって組織するとしておりまして、第4条で委員の任期は2年とされていますが、再任は妨げないともしています。第2項で委員が欠けた場合における補欠の委員の任期ということで、これは役職の交代などを想定したのですが、前任者の残任期間とするとしております。第5条は委員会には委員長及び副委員長を置き委員の互選によって定めるとなっていますので、この後皆さんにお諮りすることになりますのでよろしく申し上げます。第6条以降の説明については省略をさせていただきます。説明については以上です。

7 委員長・副委員長選出

○事務局

ただいまの説明につきましてご質問等はございませんでしょうか。ございませんでしたら、次第7番目の委員長、副委員長の選出に入らせていただきます。先ほどの説明にもありましたとおり、白石町協働による地域づくり検討委員会設置要綱第5条の規定により「委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によって定める。」と規定をしております。いかがいたしましょうか。

○委員

執行部に何か意見がありましたら。

○事務局

ありがとうございます。それでは、事務局の方の案といたしまして、第1期検討委員会に引き続き、委員長、副委員長をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

【拍手多数】

ありがとうございます。それでは、委員長、副委員長お願いいたします。席の移動の方をよろしくお願い致します。

8 委員長あいさつ

○委員長

皆さんどうもこんばんは。昨年度からの委員の方々にはお久しぶりでございます。今回から初めて参加された委員の方々どうぞ宜しくお願い致します。ご承知のようにこの委員会、平成30年に始まったのですが、今回が10回目ということで、この種の行政が設置する委員会としては非常に長い時間を要している委員会です。それほどまでに大変なことをやる委員会だということかと理解しております。先ほど町長からご紹介がありましたように、幸いにして須古地区で地域づくり協議会の準備委員会が立ち上がって、正式な委員会の設立に向けて、いま地区住民の方々が様々な話し合いが行われているというふうに理解しております。コロナとか水害とか皆さんつくづく助け合いが本当に大事ななということを痛感している日々かと思えます。協働による地域づくりはまさにその助け合い支え合い、その輪をいかに大きくしていくか、そし

で強くしていくか、それにかかっているかと思います。今年度の委員会の検討がこの委員会の正念場と理解をしております。どうぞ委員の皆様、忌憚のない活発なご意見の交換をお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

○事務局

ありがとうございました。それでは次第の9番目に入らせていただきます。協議事項でございます。ここからは委員長に会議の議長をお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

9 協議事項

(1) 第1期 検討委員会等の振り返り

○委員長

それでは式次第に沿って会議を進めさせていただきます。まず協議事項の1、第1期検討委員会等の振り返りでございます。事務局より説明をお願いいたします。

○事務局

失礼します。資料3をご覧ください。まずは平成30年度の協議内容等を説明いたします。5月29日、第1回検討委員会を開催いたしまして、今後のスケジュール等及び町民アンケートの説明をしております。7月10日、第2回を開催いたしまして、実際にワークショップとはどんなものかを体験してもらいました。そして7月から8月にかけて町民アンケートを実施して、9月に第3回検討委員会を開催し、町民アンケートの中間報告、自治公民館・団体等アンケートの説明を行い、9月から10月にかけて自治公民館・団体等アンケートを実施したところです。10月の第4回検討委員会では先進地視察ということで、佐賀市の若楠まちづくり協議会を視察し、11月12月に第5回、第6回の検討委員会では、アンケートの結果を踏まえ町民協働によるまちづくりの方向性となるリーフレットの素案を検討、1月の第7回検討委員会で決定し、そのまま方向性として町へ提示を頂いたところです。そしてそれを受けまして、モデル校区募集前の説明会を、ここのところでは右側の水色の部分ですが、2月の欄に出しておりますが、3月に駐在員さんと公民館長さんを対象に開催いたしまして、同じ3月にこのリーフレットを全戸に配布いたしました。第1期の1年目、平成30年度につきましては、本町においてまったく初めての取り組みであったことに加えまして、ご覧のとおり年度内に説明会の開催やリーフレットの全戸配布を目指していたため、9ヶ月で7回の会議を開催するなど、委員の皆さんには非常に無理を言いながらご協力をいただいたところです。本当にありがとうございました。2枚目をご覧ください。令和元年度の検討委員会協議内容等につきましては関連しますので、令和元年度モデル地区の決定やそれ以降の取り組みを含めて説明いたします。時系列で説明します。まず地域の4月のところ、須古地区で地域づくり協議会に関する意見交換会が開催されまして、区長会や公民館長会、PTA、老人クラブなど様々な団体が参加されました。その後も須古地区では様々な会合

がもたれまして、7月に町民協働によるまちづくりモデル校区希望届を提出いただきましたので、その下、8月にモデル校区として決定をしたところです。その左側になりますが、8月9日第8回の検討委員会でモデル校区の募集と決定を含めて報告をしたところです。その右側に戻りまして水色の部分、その後須古では8月から11月まで地域づくり協議会設立準備に係る事前打合せが行われまして、1月から地域づくり協議会設立準備委員会として活動され、3月開催を予定されていたワークショップの準備をされていましたが、先ほどからのお話があったとおり、コロナ感染拡大防止のためワークショップの中止を決定されたところです。ワークショップの内容について、若干説明をさせていただきたいと思います。参考資料の1をご覧ください。このチラシの分です。この3回の準備委員会で準備された内容を若干説明させていただきます。3月28日に須古地区の暮らしと未来をつくる第1回の会議ということで開催を予定されておりました。つくっていききたい須古の未来を、防災活動や災害の時にはお互いの地区を助け合っている、子どもを取り巻くことが充実していて子どもの育ちを見守る須古になっている、女性も子どもも高齢者も一人一人が活躍している須古になっている、須古の魅力が力となって人が寄る須古になっている。このことを目標に協議会の方向性として須古の暮らしの窓口のような協議会、これを目指すとしております。裏面をご覧ください。そして、いま須古地区で起こっていることということで、課題と問題を整理してあります。左上のところ、自然災害のことであったり、真ん中の下の所、子供のことであったり、右側の文化歴史のことであったり、こういった須古で起こっていること、これを現状を把握して、真ん中の一番下、ということとはということで、地区全域で同時多発的な災害が起こりうるのか、次への繋ぎができていく状態になっているのか、人の減少が集まりや継承に影響している、そういった課題整理をして、これをテーマに1回目のワークショップをする準備ができていたということです。しかしながらコロナの影響で次年度へ持ち越しとなっております。スケジュールの方にお戻りください。そして検討委員会では、左側のところですが、1月のところ、検討委員会は1月に第9回を開催いたしまして、モデル事業等の活動に対する支援について協議をしてもらいまして、3月にも開催をする予定でありましたけれども、これにつきましてもコロナ感染拡大防止のため会議を中止としたところです。2年目の現年度についてはどうにか最初は予定通り進めておりましたが、3月のコロナの感染拡大で予定が大幅に変わってしまっております。説明については以上です。

○委員長

はい、ありがとうございます。今までのこの検討委員会でのまちづくりについて振り返っていただきました。何かご質問ご意見ございますでしょうか。新しく委員になられた方には、必要であれば過去の委員会の資料をファイルに綴じてお渡し願えますか。膨大な資料になろうかと思えますけれども、この資料必要であれば、新しくなられた委員の方々にお渡し願います。ご質問ご意見ございませんでしょうか。よろしいでしょう

か。

(2) 令和元年度「町民協働によるまちづくり」モデル事業について

～須古地区地域づくり協議会設立準備委員会～

○委員長

それでは次の議題に入らせていただきます。2番目、令和元年度町民協働によるまちづくりモデル事業、須古地区地域づくり協議会設立準備委員会についてでございます。事務局ご説明お願いいたします。

○事務局

はい、それでは資料4をご覧ください。まずは令和2年度以降の須古地区地域づくり協議会設立までのスケジュールについて説明をいたします。先ほど説明しましたように、3月そして4月にもコロナ感染拡大の影響を受けております。よって、右から2番目、当初のスケジュールでは、一番下のところ、来年の3月に協議会を設立して活動開始の予定でありましたが、一番右の修正後のスケジュールの一番下、来年の5月設立の活動開始にスケジュールを変更して準備を進められております。その修正後のスケジュールで説明いたしますと、4月につきましては開催はありませんでした。そして5月には役員の交代等で代わられた方を対象としました交代メンバーの勉強会、そして6月は地域で支えあうための連携協力の在り方を検討する、7月は協議会の役割と地域の関わりを協議するという事で、実際ワークショップで実際にテーマにする内容をもとに、どういう組織体制が良いか、いま現在協議をされているところです。参考資料の2をご覧ください。いま現在どういう感じで話をされているかということちょっと説明をいたします。地域課題の2大テーマからこれからのサポート体制を討議しようということで、その進め方にあります、一番の地区の変化予測の情報を共有、須古の今を2大テーマから確認する、対応が必要となることをピックアップする、将来人口を踏まえたサポートと組織の形を探すとといったところをいま現在話し合われております。1枚めくってください。そして上の方になりますが、大字単位で人口の推移を可視化。馬洗、大渡、堤、湯崎といったことで、2000年の人口から2050年の人口をとりあえず図でわかりやすくされております。いま現在の人口から1/3であったりとか、半分ぐらいになるとか、そういったものを現実として捉えていただく。そしてその下、このような状況では今までのようにでは地域の支え合いは持ちこたえられないということで、また次のページをご覧ください。須古の暮らしの窓口のような協議会、その協議会というものはどういうものか、須古に最もあった協議会の組織の形、どんな組織だったら求めている形に近づけるのかということ、また1枚めくってください。須古における2大の課題をテーマにして討議をされております。まず1つ目が地区の文化や伝統の継承は今どうなっているのか、災害が起きそうなき起きた時の対応は十分なのか。これをテーマにして、どういう体制がより連絡が行き渡りやすいか、すぐに行動が起こせるのかというこ

とを話し合われております。これにつきましては言葉だけではイメージがわからないと思いますので、今日は実際その模様を見ていただくように致しております。前のスクリーンの方をご覧ください。映像を流します。

【令和2年7月1日 第5回須古地区準備委員会話し合いの映像放映】

これは7月1日の時の会議の様子は、場所は須古小学校体育館です。先ほど映られた女性の方がファシリテーターと言って、この会議の進行役をいただいている方です。

こういった感じで、皆さんでテーマについてお話しをしながら、そして堅苦しい会議ではなくて、自由に意見を言えるような雰囲気の中で準備委員会を進めておられます。

資料は4にお戻りください。資料4の修正後のスケジュールの9月のところ、3月に中止してしまっていたワークショップの1回目、これを9月に開催することでいま準備を進めておられます。そして11月にワークショップの2回目、1月にワークショップの3回目を開催されまして、地域づくり計画の案を完成させて、令和3年度の4月、地域内への設立の周知と承認を行って、来年5月の設立、活動開始の予定となっております。私からの説明は以上なんですけど、今日はこの検討委員会に須古の準備委員会のメンバーの方もいらっしゃいますので、何か補足説明があればよろしくお願ひしたいと思います。

○委員長

須古地区を代表する皆さんたちの個人的な意見で構いませんのでよろしくお願ひ致します。

○委員

いま言われたのと重複しないような感じで、何か例えば問題点みたいなもので良いでしょうか。

○委員長

重複しても構いません。役場の職員よりもたぶん生々しいことを語られると思います。

○委員

須古地区でいま協議会を一緒に進めながら、先ほどのファシリテーターさんが、すごく指導力があらわれて、みんな和気あいあいと、とても楽しくしているところです。進め方についてはいま詳しく役場の方から説明をして頂きました。新型コロナウイルスのことがありまして、3ヶ月ほど空白ができたのがちょっとあれだったかなと思います。それからちょうど役職が代わられたということで、途中で勉強会を入れたりとかされて、なんとか進められているところです。ただ私の感想としては、問題点として、コロナで若干、3ヶ月ぐらい、元に戻ったり進んだりがあるのかなと思います。それから、以前この協議会の方からも質問がありましたけれども、男女の構成の比率はどうですかというちょっと問題点ですけども、前回までの時には28人中9人が女性でした。その時は32%が女性の比率でしたけれども、いま現在、前の役職を辞めた方も新たに

代わった方も含めて、また再度役職になってもらったりとかありまして、28人が現在35人になっています。そういったことで、ちょっと男性役職の方が多いので、いま現在29%に若干下がったところがちょっと問題かなと思っています。いま現在改善できていると思うことが、新メンバーが今回11人いらっしゃいますが、勉強会もしっかりあっておりますけれども、はるかに去年の時よりも今の方がやっぱり少し須古であっているなあという雰囲気が分かれていると思います、とても皆さんスムーズに入り込んでいらっしゃるのかなという気がして、35人で進んでいるところです。前回ちょっと問題点ということで申し上げておりましたが、須古地区には実は15地区ありまして、役職とかあて職とかいろんな方を含めて、15地区のうち3地区からは代表者が出ていらっしゃいませんでした。それで今回は人数は増えてもいいねということで、出ていらっしゃらないところの区長さんをお願いしましたところ、3人の区長さんが出ていただきましたので、15地区全地区から一人は最低でいらっしゃるといことになりまして、その点は改善できたかなと思っています。そういったことで、気になるところは少しずつ改善できています。見え始めたこれからの課題ということでちょっと思っておりますが、先ほども説明がありましたけれども、須古で一番問題なのが、さきほどからもあっているように、災害、土砂がある、山がある、六角川があるということで、非常に災害が多いところかなと思っております。どこでも全体的に多いですけれども、そういったことで、やっぱり一番にこの協議会の目指すところが、実は地域防災組織というのが須古にないことです。それで、こういう組織が必要だよというのが先ほど映っておりましたが、そういう意見が大分増えていたところです。2点目には先ほどもありましたけれども、浮立とか伝統芸能に関してはとにかく私たちぐらいの世代の上の人は、人数が何人もいます。「区長さんをして」と言われれば、「はい」と15人のうちの1人を選べばいいんですが、今メンバーの中にいらっしゃる30代40代には仲間が3、4人しかいらっしゃらないんです。もうこれではまちが成り立っていかないような、浮立や伝統芸能にしてもなかなかできないなというところが問題点として、先ほどテーマに2つ災害とか伝統芸能、先ほども映像にも映っておりましたが、そういうところを問題に上げていま進んでいるところです。まだまだ課題はこれからたくさん見つかるかと思いますが、この協議会があることによって、何でもこの協議会に相談できるような協議会にしていけばいいのかなという風に思っています。というのが私たちの地区は区長会とか公民館長会とか民生委員会とかそれぞれにとても活躍をされております。ただ、民生委員会の中で問題になったこと、区長会で問題になったことが、全体の問題の課題としてはなかなか浮き上がってこないところが、まちの進み方のネックになっているのかなと思うので、この協議会ができることによって色々な団体があて職とかでも入っておりますので、ここの協議会に言えば、区長さんもおられる、公民館長さんもおられるということで、公民館長会で問題になったことがここで問題提起されるとか、区長会で問題になったことがここで問題提起されたりすることによって、非常に

この会の目指すところが、絶対必要よねということをお話しているところです。

○委員長

ありがとうございます。他の須古地区の方、追加で何か、感想でも構いませんのでなにかありましたらお願いします。

○委員

いまおっしゃったようなことで、いつも参加させて頂いておりますけれども、やはり現実、子どもの人数、若い方もそうですけれども、減少していくという、そこに一番の危機感がございます。それによって、こういう芸能にしても、伝統にしても、全て関わることじゃないかなと思ひまして。いま私たちの年代がいる中で、少しでも何か先に進むようなことがあればいいなということは、いつも参加させていただきまして、本当に皆さんがそこに何かをしなければいけないということに気づかれて、皆さんが協議会にワークショップとかに参加されていくようなそういう機会を頂いたんだなと思って、皆さんにもそういう機会を伝えられたらなということをおもひしております。

○委員長

はい、ありがとうございます。この検討委員会が始まって、なぜいま協働の地域づくりが必要なのか、どんな協働の地域づくりを進めていくのか、そういった概要をリーフレットにまとめて町内全戸配布しています。それで済むわけではなくて、じゃあ具体的に何をどんな風に進めていくのか、それをモデル地区と称しますけれども、須古地区でいま検討が始まった。いまその設立準備委員会でいろいろ話をされていて、そのメンバーは、一応、役職者、団体の代表者等からなるメンバーで進められる。全地区から参加していただいている。女性も3割弱入っていただいている。そして新しい方も入ってきていただいている。これからは須古地区の誰でも参加できるワークショップに拡大して、問題点を地域住民、地区住民全員で共有していく。そういう作業をこれから始めることとなります。色んな課題が当然出てまいります。とりあえずとっかかりとして、須古地区では防災と地域の歴史文化の継承その担い手、その辺りからいま検討を始めている。当然それ以外にも、福祉であったり子供の見守りであったり、様々な活動が必要になります。そういった点はワークショップ等を通じてこれから話し合っていたきたいと思ひています。この委員会に須古地区で話し合われていること、須古地区の方々が課題として挙げていること、それをこの委員会にあげて頂いて、委員の皆様方で全体で共有していただきたい。その上で須古地区以外の地域でも同じような取り組みをぜひ開始して行って頂きたい。そういったある意味、道しるべ、そういったものを今年度この検討委員会でまとめていくことになろうかと思ひます。須古地区の取り組みについて、何かご質問ご意見ございませぬでしょうか。追加で何かご意見、感想でもございましたらお願いします。

○委員

補足ですけれども、ワークショップで私たちのグループで話し合った中で出たところ

は、まずはいま子どもの人口が減って、後継者がどうなっていくんだろうか、家庭のこともありますが、学校や地域づくりなど、一番最初に問題が出たんですけれども。それを言っては話にならないので、地域の伝承芸能とかを守るためにはどうすればいいのか。いま現状では地区によっては、祭りのたびに、他の地区から指導者、浮立であれば笛などの加勢をうけてしているところもある、現実。そういうところからまずしていこうかということで話し合っているところです。究極のところは子どもが少ないのが一番困りますけれども、それを言ってもどうすることもできないので、お互いに補完しながら、各区からの協力を受けながらしていかなければ仕方がないだろうというのがいまの話し合いの現状です。

○委員長

はい、ありがとうございます。なんとなく人口が減っていく、高齢者がどんどん増えていく、なんとなくみんなわかっています、危機感をもっています。それをもっと具体的にこの行政区では、この集落では10年後何人くらいになってしまう、高齢者の割合がこれくらいになってしまう。しっかりとその予測をデータで示した上で、みんなで課題を共有していただく必要があろうかと思っています。モデル地区になりますと、そういう細かな丁寧なデータの提供をして、地区の方々のいわば検討の素材として活用していただくように事務局も努力をいたします。さきほど冒頭、話しがありましたように、ワークショップ形式で開催すると皆さん発言しやすくなります。それをうまくファシリテーターという方が話し合いをリードしてくれます。今まであまり話せなかったようなことを遠慮なく話せる、そういった雰囲気づくりを進めながら、須古地区の今後をみんな支えていきたいな、応援したいなと思います。委員の方々、何かご質問ございませんか。須古地区の取り組み。何でも結構です。はい、どうぞ。

○委員

白石というのは、今は有明、福富、白石、3つの町が集まって白石町になったんですが、その前は白石も、須古、北明、六角の4地区に分かれていたんです。それで私もいま駐在員をやっているんですが、民生委員、公民館長、色々なことを経験してきて、地域を歩いてきて、40年近くこちらにいなかったもので、改めてみると、いまのこの白石だけでも、4地区というのは、それぞれ山、川があり、田んぼがあり、まちがありとか、それぞれ違うんです、地域の特性が。それとやはり、行政区が違ったこともあって、それぞれの地域の人たちの、例えば会議の進め方であったりとか、組織の作り方というのも地域によって違うんです。先ほど言われましたように、人口減少というのは須古だけがあるのではなくて、その地域ごとに地域で起こっている、日本全国で起こっている。ということは、ある種、須古地区が抱えている課題というものを他の地域でもわかる。ただ、須古地区でないと分からない、例えば地域に生活もしていない、暮らしたこともないという人たちに、極端な話として、須古地区の事情が分かるかと言うとなかなか分からない。そこら辺りは、地域で発言されたことに対して、この委員会ですらどういうふう

な解決方法があるのかということ、地域を見ながら、地域の情報を見ながら、地域でないと見えないこともあれば、逆にいうと地域にいるから見えないこともあるかと思うんです。そこら辺りの課題をこの委員会で補助して行って肉付けをするという形ができれば、委員会の意味もかなりあるんじゃないかと。今後の展開で先ほども言われたように、とりあえず須古地区の方でモデル事業ということでやられているんですが、今後、本来であれば全体の中で、こういう地域づくりというのが起こって行って、町全体が活性化して行って、人口は減っても町は賑やかになっていく、強くなっていくという方向へ持っていくための基礎づくりということになっていけばいいかなと思っている。先ほどおっしゃられていましたが、過去の色々な配付資料を私たちも見ないと、今までこんなことが議論されてきたとか、逆に言うと、須古地区にはこんな問題もあるのか、4つの地域では普通のことではないのかとか、そういうことも踏まえて、今後まちづくりをいろんな地域に展開していくデータとして、また参考資料として出していくことが一番望ましいことだという風に思います。

○委員長

はい、大変貴重なご意見ありがとうございます。須古地区の方からこの委員会に、いろいろ課題なり成果などを色々あげていただきます。同時に、この委員会で須古地区に何かアドバイスができることがあれば、委員会の場を通じて、またそれ以外の場でもアドバイス等を送りながら応援したいというふうに私は思っております。ありがとうございます。この地域づくり協議会のような組織の立ち上げにはかなり時間がかかります。とは言え、災害は待ってくれません。先に先行して、自主防災組織を立ち上げなければいけないような状況の場所もあろうかと思えます。線状降水帯ですか、ずっとここ毎年のように降っていて、大水害が起こっています。いかに災害のリスクを減らすのか。あるいは、避難をどんなふうに円滑に進めるのか、あるいは被災した場合にいかに皆で助け合って復興していくのか。それぞれの地域の住民が主体的に取り組むそういう組織が不可欠になっています。もちろん行政はやることやります。消防団もやります。しかし、やはり隣近所の助け合いも含めて、日常的な自主防災活動、そういったものが必要になってこようかと思っています。そういった意味でも、今までの協働による地域づくりが僕はかなり後押しされてきている、やはり必要だというふうに私自身も思っています。何か他に須古地区の取り組みについてご質問ご意見等ございますか。はい、どうぞよろしくお願いたします。

○委員

須古地区でのスケジュールの中で、組織のメンバーが、やはり任期が来たら辞めていかれると、そしたらこのスケジュールを見たら、こうしたメンバーの勉強会をやられていますよね。これは何年かごとにずっとメンバーの方が替わられると思うんですけれども、そういう時には、やはり継続して新しい人にはそういう勉強会というのはされる予定ですか。

○委員

将来的なことは私はよく分かりませんが、実は勉強会はとても必要だと思っ
ているんです。今回は11人の新しい方が入られて、それから代わられるというこ
は辞められる方もそれだけいらっしゃるんですね。前回の公民館長さんであつたり、駐在
さん、区長さんであつたりした方は、またしてもいいよという方が実は7人ほどいら
っしゃったんです。それでもものすごく助かったということもあります。実は、今回初め
て来られているんですけども、もうあれだけ会に来られてのご意見を言われたのはす
ごいなと思いましたが、そういうのもありますけれども、協議会が設立されたら、
来年のことですけれども、役職とかあて職とかというのは少しは薄れてくるのかな
ということを感じているところです。勉強会は今回とても必要だったのですけれど
も、これから代わられる方についてはじっくり説明をしたり、そういったことはしな
いといけないのではないかなと思っております。来年度はちょっとまた形が違うの
かなということを感じております。補足をお願いします。

○事務局

一応、須古の方はスケジュールでご説明しましたように、来年の5月に地域づくり協
議会設立の予定で進めておられます。そういったことで4月に役職が代わられる方が
いらっしゃるかも知れませんが、準備委員会としての、その組織としては、あと
2ヶ月どうか頑張ってくださいかなと。5月からは、いま話もありましたように、
地域づくり協議会としてスタートするという予定なので、その協議会の組織につ
いては、また、会長さんなり、いろいろな部会長さんなりというのは、その時に決
められて、そしてその中で引き継ぎというのは行われていくのかなという風に思
っております。以上です。

○委員長

ありがとうございます。ごもっともなご質問です。役がなくなったらこういった活
動に参加しないでいいみたいな暗黙の了解みたいなものが我々あるじゃないですか。
ところが役が終わったとしても、任期が終わったとしても、人口が減っていく中で、
その地域を支えるやはり一人です。そういう立場で、役を退いたとしても、地区
の地域づくりに引き続いて関わってほしい、関わるべきだ、そんなことを協議会
の設立文の趣旨の中に一言込めてほしいと私は思います。それがまさに協働の
まちづくりの原点だと私は思います。そういった点も須古地区の方たちでいろ
いろ協議してください。

○委員

1つの事例を。実はいま避難勧告や避難指示が出ているんですけども、地域づく
り協議会をやっていることが、とても勉強に皆さんなっていると思うんです。
ものすごく山べたの地区がありまして、中央の総合センターへ行くことができ
ない方がいっぱいいらっしゃるんです。どうしたらいいかということになりま
して。須古の公民館長さんとか、前公民館長さんが、公民館を開けようとい
うことになりまして、中には何で公民館

を開けなければいけないのかという意見もあったそうですが、3、4人で公民館を開けていただいていた。やっぱり、防災の必要性とか総合センターにまで行かなくても地域の中で物事を考えるというそういう考え方が、みんなどこでも、他の所でも言われていたんです。そういうことをして、勉強した成果と言ったらおかしいんですが、特に前の公民館長さんが「開けよう」ということで、民生委員さんもお賛同されたということで、良い事例かなというふうに今のところ私は感じております。

○委員長

ありがとうございます。1つの小学校区単位で色んな団体の関係者が一堂に集まって皆で色々話しをしていくと、おそらくそういったことがいままでもなかったと思うんです。当たり前と思っていたこと、そうではなかったこと、いろんな気づきがあって、実はいろんな工夫をすれば、人口が減っていてもなんとか地域は支えられるんじゃないか、そんな風な可能性みたいなものを感じ取っていただくとちょっとやりがいが出てくるのかなと思います。ありがとうございます。先ほどの動画は、これはこの委員会で見れないんですか。町民は見てはいけないのですか。

○事務局

行政放送でも放送するようにしております。

○委員長

差し障りがなければ、さっきのワークショップみたいなものを広く皆さんに見ていただくちょっとリアリティがあるかなと思います。よろしくお願い致します。

(3) 令和2年度「町民協働によるまちづくり」モデル地区募集について

○委員長

それでは次の協議事項に入ります。令和2年度「町民協働によるまちづくり」のモデル地区の募集についてでございます。事務局よりご説明をお願いいたします。

○事務局

それでは資料5の1をご覧ください。モデル地区を募集する前に、まず地区の代表であられる駐在員さんや公民館長さんなどを対象とした町民協働によるまちづくり説明会の開催をしています。今年度は、昨年度の反省と申しますか、昨年度は3月にいたしました。3月に説明会をした後に、4月に駐在員さんが交代したりとか、公民館長さんが交代したりとかされて、結局6月にモデル地区の募集の通知を出した人と説明をした人と違う人になってしまったという反省点を踏まえまして、今年度は6月と7月に開催をさせて頂いております。まず6月23日の白石地区から一番下の7月14日の福富地区まで、須古を除く全7地区で開催を致しました。対象者は全体で153名。そのうち出席者が96名、出席率は62%となりました。これは昨年3月に開催した説明会は対象者数は同数でありますけど、出席者は54名、出席率は35%でした。また今年度は備考欄に書いておりますとおり、その他出席者1名とか書いてありますが、地区の出身

の議員さんも出席されているところもありました。こういったことから、少しずつではありますけれども興味を持っていただいているのではと思っております。

資料5の2をご覧ください。令和2年度白石町町民協働によるまちづくりモデル地区の募集のお知らせです。詳細な説明は省かせていただきますけど、駐在員さん宛て、自治公民館長さん宛てに8月上旬に送付する予定です。その下の注1のところですが、今年度も募集期間につきましては、いつまでと特別に設定はしておりません。まずは検討いただくことが重要ということで、個別の相談も受けながら進めていこうというふうに考えております。そして注2ですが、今年度も1校区をモデル地区として選定する予定です。1枚めくっていただきまして、別紙1につきましては、募集に関する説明文、詳しいことを書いております。そしてもう1枚めくっていただきまして、別紙2のところですか。別紙2につきましては、モデル地区を希望する際の届出書ということで、これを各地区の代表者のお名前町の方に出して頂いて、町の方で選定をしていくということになります。

そして最後、別紙3をご覧ください。別紙3につきましては、地域づくり協議会の活動交付金の算定案です。これも参考として添付する予定です。この表につきましては、AからJまで10個の行政区があって、人口2,300人、世帯数が730世帯という仮定の地区をお示ししております。この地区が地域づくり協議会を設立して活動される場合、その下のところに書いてます、まず人口割100円×人口ということで23万円。世帯割100円×世帯数ということで73,000円。合計が303,000円となります。これが通常の交付金ということで、これは活動を開始していただいたら毎年交付を予定ということで考えております。そして、この地区が仮に令和元年度から令和3年度のモデル地区に指定された場合は、モデル地区支援経費として、元年度であれば20万円、令和2年度であれば15万円、令和3年度であれば10万円が、活動初年度か次年度1年だけ加算されまして、先ほどの303,000円に、仮に令和元年度にモデル地区に指定をされてますと20万円を加算して503,000円。これが令和2年度になりますと15万円加算で453,000円。令和3年度ですと10万円加算されて403,000円となるといった資料でございます。これまで検討委員会では元年度の加算分、支援経費の20万円だけをお諮りして、2年度3年度につきましては、財政状況等を考慮して、その都度協議をするとしておりました。しかしながら、募集につきましては支援経費を含めて活動交付金を示すこと、また、説明のためには予算の絡みもありますので、町内部での調整あるいは町の議員の方たちへの事前の説明等が必要であったために、この検討委員会の皆様には事後の説明となっていることとお詫び申し上げます。また、この別紙3につきましては、今回の会議の資料として、平成元年から令和3年の支援経費を明記しておりますけど、実際の通知に添付する場合は、令和2年度の15万円のみを提示しまして、もうちょっと分かりやすくなるように説明を加える予定です。説明については以上です。

○委員長

はい、ありがとうございます。須古地区に続いて2番目、3番目のモデル地区を是非とも設定し、地域づくりを進めていただきたいという思いでの提案でございます。今年度1校区をモデル地区として設定する予定です。応募が多数の場合にも1校区ですか。

○事務局

一応予定は1校区です。ただそこは話をさせてもらいながら。

○委員長

最初から1校区だと手があげにくい？

○事務局

相談はバンバン受け付けます。

○委員長

財政も厳しい中で、モデル地区には支援をさせていただきます。複数手が上がった場合によっては補正予算でも組んで取り組んでください。何か他にご質問ご意見ございますか。是非委員の皆様で、是非我が地区でやってみようじゃないかというようなことを地区の関係者に提案をいただくと手が上がってくるのかなと思っております。実はこれ、須古に第1号になっていただく時に、かなり産みの苦しみがございました。ぱっと手を上げたわけではなくて、役場の職員が一生懸命説明をさせて頂きまして、委員さんにもご意見、いろいろご協力もいただきました。やってみて良かったでしょう。いまのところ。

○委員

最初は戸惑いました。

○委員長

何をやっていいのかわからないとか、とっつきにくいとか、そういう印象であったかと思いますが、幸い須古地区での試み、こういったものが共有されていくと、手が上げやすくなるのかなとは思いますが、是非とも本年度、最低1地区をモデル地区にしたいと思います。何かご質問ご意見ございますでしょうか。手をあげるに際して、行政の方に相談をされればよろしいかと思えます。そういう体制で臨んでおります。この件よろしいですか。

(4) 令和2年度 検討委員会等のスケジュールについて

○委員長

それではご質問もないようですので、それでは4番目、今年度の検討委員会のスケジュールについてご説明をお願いします。

○事務局

資料6をお願いいたします。令和2年度のスケジュール案です。簡単に説明をさせていただきます。この検討委員会、第10回検討委員会を本日開催いたしまして、11月

に第11回、2月に第12回の開催を予定しております。次回からは先ほど委員長の話にもありましたように、モデル事業の進捗状況などを参考にしながら、町民協働によるまちづくりの提言に向けた検討を予定しております。右側の方、地域の方です。ここにつきましては、先程も説明いたしましたけれども、8月上旬にモデル地区の募集をして、できれば9月にモデル地区の選定をして、そしてできれば10月に令和2年度のモデル事業をスタートということを取り組んで行こうと考えております。説明については以上です。

○委員長

はい、ありがとうございます。この委員会ですが、あと2回、年度内に開催を致します。次回は11月、そして2月。この2月の委員会でこの検討委員会での、ある意味、提言書みたいなものをまとめて町長に提出をさせていただくことになります。それから先ほど須古の今後の計画で説明がございましたけれども、9月10月あたりに、つまり次の委員会までの間に、須古地区でワークショップが行われます。これは当然、須古地区住民が行うものですが、この委員会の委員さんは傍聴していいですよ。是非とも時間が許せば、この須古のワークショップを委員の皆様、傍聴してください。いろいろ参考になろうかと思っておりますので。日程等で変更等があったら委員さんに知らせてください。私も可能な限り参加したい、傍聴したいと思っています。コロナがちょっと心配ではありますが、何か今後のスケジュールに関してご質問ご意見ございますでしょうか。

○事務局

提言書の提出は令和3年度です。第2期の一番最後です。

○委員長

素案を作る程度ですかね。申し訳ございません。提言書は来年度になるそうです。この委員会はえらい長い委員会ですね。何かご質問ご意見ございませんでしょうか。よろしゅうございますか。三密を避け、時間を短縮するのが新しいライフスタイルでございます。70分近く経過しましたので。それでは他にご意見なければ本日の協議事項はこれで終了させていただきます。

10 その他

○委員長

その他に入ります。事務局お願いします。

○事務局

その他の項でございますが、今度の第11回の検討委員会の開催のお知らせでございます。日時は11月ごろ、時間は今日と同じく19時、場所は未定としておりますが、基本的にはこの会議室で開催するよう予定をしたいと思います。内容につきましては先ほどお話がありましたとおり、町民協働によるまちづくりの方向性をリーフレットとい

う形でこの委員会から町の方へ提示をさせていただいております。それを提言という形にするために検討を進めてまいりたいというふうに考えております。町といたしましてはそれを受けまして何らかの進むべき方向を示す形をつくっていききたいというふうに考えておりますので、委員の皆様のご出席とご協力よろしくご願いたします。何かございましたらお受けいたします。よろしいですか。

○事務局

事務局の方から1点を連絡をいたします。この会議の終了後、今年度3回会議を予定しておりますので、資料を綴るファイルをお配りしますので、若干お待ちください。よろしくご願いたします。

1 1 閉会